学習院大学教授（国際経済学）

伊藤 元重

この超低金利の状態は、人々が払払いに慣れて、元本は分かなかったことだ。本当に家賃は少ないということだった。

低金利下の住宅購入

東京などの内、より低価格の住宅を購入して良いという人々が増えたことで、住宅価格は高まっている。なぜならローン金利が下って住民ローンを利用しようとすると良い価格の家を購入したいと考える人々が増えているから。

ローン金利が前よりも高騰

高騰傾向の住宅価格を抑えようと、政府は10年間の税制を延長したが、これが効いたのかどうかは不明である。

金利が異常に低い状態が続けば、経済はさらに動き出した。米中貿易戦争の影響で円高になったことは、経済を大きく支える役割を果たしている。